



週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第303号

2017年1月23日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

全国で学校給食の無償化進む

全国で給食の無償化が広がっています。現在55の自治体で学校給食を無償にしています。55自治体のうち9割がこの6年間に実施しました。さらに2自治体が4月の新年度から無償に切り替える予定です。また、完全無償とまではいかななくても一部補助を行っている自治体は、全国で362自治体あります。全額補助と一部補助の割合は、全1,741自治体のうち24%にあたる417自治体で行っています。（「しんぶん赤旗」調査）。

滋賀県長浜市は昨年9月から、27の小学校すべてで給食を無償にしました。対象児童は6,078人、1人あたり年4万4千円の給食費を公費でまかない、保護者から歓迎されています。

八千代市の学校給食費は

「小学校も中学校も通わせるのにお金がかかる」と保護者からの声が絶えません。八千代市では現在、小学校の給食費は1食265円。中学校では1食317円です。全国平均からみて小学校ではやや低く、中学校ではやや高くなっています。2009年度に小学校で1食35円、（年間6,650円）、中学校で1食42円（年間7,980円）と大幅に値上げしています。

全国の給食費の平均月額、小学校で4,301円、中学校で4,921円と、年々増額しているのが実態です。（2015年度実態調査、文部科学省）。

自治体独自の施策で無償化も

憲法で義務教育の無償が定められています。しかし、授業料や教科書の無償に限られ、給食費、ドリル代、修学旅行積み立てなど、保護者負担は相当の金額にのぼります。“学校給食は教育の一環”と学校給食法でも位置づけており無償とすべきです。

日本共産党は、義務教育無償の原則にもとづき、国の責任で給食費、副教材などを無償化するよう求めます。同時に地方自治体が独自の施策で給食費を無償化して、子どもたちや保護者を支援していくことも必要と考えます。八千代市でも学校給食の無償化を実現するためにがんばります。

